



■第 235 号（通巻） 2019年8月19日発行

公益財団法人富山 YMCA

〒930-0046 富山市堤町通り 1-3-14

TEL: 076 (425) 9001

FAX: 076 (424) 6937

■URL: <http://www.ymcajapan.org/toyama/jp/>

■Email: tutumi.kyoyu@toyamaymca.org

■発行人：神保 勝己

愛されているという実感

～YMCA キャンプ 100 年～

松田 誠一（富山 YMCA 前総主事）



昨今、SNSを通じて注目を浴びたいが故に、とんでもない行為に及ぶ若者が増えてきました。周囲の人に注目してもらいたい、かまってもらいたい欲求が強いということでしょう。

キャンプに参加する子どもたちと何も変わらないように感じます。いたずらをするので、リーダーの反応を求める行為と全く同じです。「かまってもらいたい」オーラを発する子どもたちに、キャンプリーダーは目一杯関わってくれますし、愛してくれます。その安心感が子どもを成長させ自信を育む機会を与えています。周りの目を気にして、自分に対する評価に敏感な若者も多くなった気がします。今の若者にも、愛情が必要なのではないのでしょうか。5年前に、砺波青少年自然の家で幼児を対象にしたわんぱくキャンプを始めました。最初は7名の参加者でしたが、年々増え続け、今は多くの子どもたちでいっぱいです。プログラムはおおよそ毎年同じですが、子どもたちにとっては生活そのものがキャンプであり、リーダーから愛されている喜びを感じることができる貴重な時間です。YMCAのキャンプは、プログラムではなく、キャンプリーダーの存在であると言われる所以です。

1920年、六甲山麓の南郷山の松林で簡易天幕を設営して行われた大阪YMCAが行なった教育的組織キャンプから、来年で100周年を迎えます。冒険教育、環境教育、そしてSDGsすべての要素を兼ね備えていることに加え、リーダーから愛され、仲間から愛され、両親から愛され、神様から愛されていること、そして自分が大切な存在であることを実感できるキャンプだからこそ、YMCAキャンプは100年の歴史を刻むことができたと確信しています。今も全国のYMCAで3万人の子どもたちがキャンプに参加しています。今年の夏も、ひとまわり大きくなった子どもたちの成長が楽しみです。



2019 年度富山 YMCA 会員総会報告

6月23日(日)、萩浦保育園にて役員・会員・財団法人職員・社会福祉法人各園の先生、約60名の参加のもと、2019年度会員総会を開催いたしました。

第一部の礼拝から始まり、第二部では2018年度の事業報告、決算報告がなされました。今年度も多くの方々のお力によってYMCA運動が継続できたことへの感謝が述べられました。2019年度の事業計画では、新たな総主事を与えられ、気持ちを一つに一年の歩みを進めていくことを確認しました。

第三部では、YMCA運動の始まりの物語を演じた舞台を上映し、会員の皆さんと鑑賞しました。創立者の一人であるジョージ・ウィリアムズがロンドンで産業革命時代、劣悪な環境での労働状況から青年達の生活改善と心の健康のためにYMCAを創立した物語に、その時々々の社会問題の解決に取り組んでいるYMCA活動の原点を確認することが出来ました。当時の祈りの燈火を灯し続けることが今を生きる私たちの使命だと改めて強く感じました。下記のアドレスからご覧になれますので、皆様も是非ご鑑賞下さい。

<https://vimeo.com/295802071/b302e7b9c6>



トライアングル NO.4

神保 勝己 (富山YMCA総主事)

備えあれば憂いなし

去る6月18日午後10時22分、新潟にて震度6強の地震が発生しました。私は、熊本で3年前回にわたる大きな地震を体験し、今回と同じように夜でしたので、全容がわかるまでに時間がかかり、「いったい何が?」「メンバーは?」「スタッフは?」「各施設は?」・・・と不安で眠れない夜を過ごしたことを思い出しました。また、地震直後には、日本YMCA同盟他、数名のスタッフと電話やメールで確認を行いました。新潟が震源ということもあり、北陸地方である富山を心配して「大丈夫?」と連絡もいただきました。JVOADや日本YMCA同盟とも確認を行い、状況によっては、中日本エリアで新潟に近いYMCAのスタッフとして、先遣隊で向かう心の準備をし、数日被害が大きくなることを祈りながら過ごしていました。

さらに、6月末には、鹿児島、宮崎、熊本で災害レベルの記録的な雨が降りました。丁度、3回目となる熊本地震支援者のためのケアプログラムの進行サポートとして阿蘇キャンプに27日より入っており、30日には、朝の目覚ましよりも先に災害緊急エリアメー

ルで起こされました。テレビ等では、被害のひどいところを中心に各社挙って報道します。益城も川が氾濫し、益城運動公園のスタッフは、早朝に戻って対応の準備を行いました。熊本の各地で避難勧告が出されました。

身の回りで起こっている出来事に対する危機意識は様々です。災害の危険度は個人の判断に任せられ、同じ警告でも災害を想定して早く動く人、そうでない人がいます。今回、TV取材を受けていた高齢者が、「もう少し早めに動いておけば、ここまで周りに苦勞を掛けずに済んだ」と反省されている場面もありました。最近では、避難レベルを5段階に分けて報道されるようになり分かりやすくなったと思いますが、受け取る人の感性によっては備えないケースも起こります。災害は経験しないに越したことはないのですが、経験したことによって、危機意識、備えの大切さの認識が高くなることもあります。災害を間近に経験した者として、“平時の備え以外危機から脱することはできない。様々な想定をして、備えることが大切である”ことを伝えていくことが重要であると改めて感じました。

この夏、各地の川や海、山でYMCAのプログラムが行われます。各担当者は、危険箇所や悪天候などネガティブな状況も想定しながら備えに万全を期して当日のプログラムを迎えます。プログラム本番では、ポジティブに安全に楽しく子どもたちが各地で感動体験をして欲しいと願います。

2019年度 夏期リーダートレーニング報告

いよいよ夏本番。たくさんのキャンプや特別プログラムが始まっています。今年も多くのメンバーたちと楽しい時間を過ごせることをうれしく思います。

さて、先日 2019 年度夏期リーダートレーニングを実施しました。その報告をいたします。気温もまだ高くなく、ピンポイントの雨予報。始まる前からどんなトレーニングになるのか、期待と若干の不安が入り混じりました。そして、天気は案の定雨。野外炊飯のしかも昼食を一人で作っているところに急に降り始めました。試行錯誤し、何度も挑戦している背中に容赦なく降る雨。焦りも感じます。それでも何とかラーメンを食べるために必死です。擦ったマッチの数は数知れず。そして工夫の数となりました。

2 日目も早朝から雨。登山の予定でしたが雨と、山道の状況を考慮して、今回は泣く泣く中止となりました。その代わりに行ったグループでのキャンプの企画・立案・プレゼンテーション大会。どのグループも今自分たちがやりたい企画を時間いっぱい考え、練っていました。どのグループも普段していない活動を思いっきり楽しみたいということが存分に伝わるものでした。

この記事が載るのは8月の中頃です。キャンプも後半戦、終盤戦。子どもたちの楽しむ顔を見られるのもあと少し。残りの期間もリーダー一同全力で楽しみたいと思います。

田中厚至 (ウエルネス事業部)



ぽかぽか

ふなはし日記



ふなはしこども園 8・9月行事予定

8月

- 3日(土)ふなはし祭り
- 6日(火)プール指導 (年中・年長)
- 7日(水)
- 20日(火)給食参観
- 29日(木)むらっ子たいむ

9月

- 10日(火)給食参観
- 13日(金)運動会予行練習
- 20日(金)むらっ子たいむ
- 28日(土)運動会

～夏野菜作り～

5月に子ども達と畑に夏野菜を植えました。3歳児は、同じ苗でも違う色の実が出来る事を気付けるようにと赤と黄のミニトマトを植えました。子ども達は苗に赤色の小さなミニトマトがついていると思っており、「あれ～？赤色の無いね？」と首をかしげている様子。保育者がはじめから赤色のミニトマトが付いているのではなく、水をあげたり、草むしりをしたりお世話をすることで大きくなって野菜ができる事を伝えると「えー！」と驚いていました。

子ども達は、その日から水やり当番がまわってくるのをワクワクしながら待っています。「おおきくなりますように」と1つずつそーっと水をかけている子ども達。給食にミニトマトが出ると「あ！ぼくたち植えたやつ！」という声が聞かれ、早く自分達で育てたミニトマトを食べた様子です。赤や黄色のミニトマトがたくさん採れますように...

米谷 真由美 (3歳児担任)

次号は萩浦保育園です。お楽しみに！

Wai Wai News Board

残暑お見舞い申し上げます。

厳しい暑さが続いています。皆様お体に気をつけてお過ごしください。

新学期からもどうぞよろしくお願ひいたします。
富山YMCAスタッフ一同

講演会「夢がかなうなら」

「Make A Wish」

命に関わる難病と闘う子供達の夢をかなえるボランティア団体。その代表を長年してきた大野寿子さんの活動を今から18年前にNHKのドキュメンタリー番組にしました。登場するのは、「北島三郎と与作を歌いたい」と夢を願ひ出た小学校6年生の少女。彼女が夢をかなえていく過程で関わる人達も皆、元気になっていきます。夢を持つことの素晴らしさ、生きることの輝き。そんな輝く時間をあなたも過ごしませんか。沢山の皆様に元気の出るお話を聞いて頂ければと思います。

【講演者プロフィール】

田中廣喜（たなか・ひろき）

NHKグローバルメディアサービス報道番組部チーフプロデューサー。

B S 1 連日23時「ワースポ×MLB」担当。イチロー・大谷翔平などのドキュメンタリー番組を制作

日本キャンプ協会理事。横浜YMCA常議員。

大野寿子（おおの・ひさこ）

メイク・ア・ウィッシュ・オブ・ジャパン理事。全国で講演活動中。著書「メイク・ア・ウィッシュの大野さん」「主人公はいつも君」

「メイク・ア・ウィッシュ 夢の実現が人生を変えた」

日時：9月20日(金)18:00 開場

場所：富山県民会館 定員：80名

申込：要予約 富山YMCA 堤町本館本部事務局まで
076-425-9001

■8月の活動のご案内■

ウエルネス

8/17(土)～2学期開始

※報告書をお持ちの方はご持参ください。

8/19(月)～21(水) 富山市ふれあいキャンプ

8/31(土)～9/1(日) 湾岸サイクリングキャンプ

語学事業

8/19(月)～2学期開始

フリースクール

8/19(月)～8/30(金) フリーポート第2期

8/25(日)～8/30(金) フィリピンスタディツアー

9/2(土) フリースクール全コース新学期開始

●蚤の市商品提供のお願い●

恒例の「ファミリーバザー」(11月3日(祝・日)開催予定)で実施される「蚤の市」で販売する商品を集めます。皆様のご家庭で使っておられない商品がありましたら、ぜひ「蚤の市」へのご寄付をお願い致します。

日用雑貨、食器、嗜好品、お酒、食料品など、なんでも結構です。「蚤の市」を通じて、ご家庭で眠っている商品を必要な方に活用していただけたらと思います。ご協力をお願い致します。

*商品は9月2日から各センターでお預かり致します。

ふ・ふ・ふ フリースクール 番外編

この夏、駅前センターは城と化している。城主のKの下、とんぼ・すみれ・のぶなが・たけのこが40名余りの子ども達との戦いに挑んでいる(?)

サマースクールと学童の子ども達の連合軍。なかなかの強者だ。学校も学年も違う子ども達。時には小さいさかいもあるが、毎日楽しく過ごしている様子。宿題も1つずつ片付いている。「夏休みにYに来て良かった」と言われるのが何よりの褒美である。(小田)

とんぼのつぶやき (不定期)

駅前センターフリーポート城の一番槍。とんぼです。今年の夏は、ひたすらに子ども達と戦いを繰り広げています。春にドンジャラを教えた子どもが急激な成長を見せ敗北。初日は宿題を1ページもやらなかった彼が最終日は宿題を終わらせられなかったことに涙を流し、もっと頑張ることを誓い合う毎日を過ごしています。笑いあい、怒られ、頑張り、日々子ども達の大きな成長を感じています。夏休み後半戦。もっと楽しい思い出を作りましょう!